

決算特別委員会の審査の状況

(審査の様子は、県議会ホームページの「インターネット中継」でご覧いただけます。)

9月25日に設置された決算特別委員会は、9月定例会で付託された「令和5年度広島県歳入歳出決算認定」並びに「令和5年度広島県公営企業決算認定」について、審査を行いました。9月30日には代表監査委員から「広島県歳入歳出決算審査意見書」等について説明を聴取し、10月11日から11月1日まで7回にわたり部局別審査が行われた後、11月25日には知事の出席のもとで総括審査が行われました。審査の結果、いずれも全会一致で認定すべきものと決定され、12月17日の本会議で、その旨報告されました。

主な質問事項

- 行政DXの推進に当たり、県が率先して取組を進めるほか、利便性向上や質の高い行政サービスの提供につながるよう、市町を支援された。また、民間事業者のDXについては、地域ごとの特色等を踏まえた取組が必要であるため、各市町とも連携を図り、後押しされたい。
- 芸備線再構築協議会は、今後全国の赤字ローカル線の存続と自治体の将来に関わる重要な協議会であり、鉄路存続に対するJRの責任を踏まえ、沿線自治体の協力の下、鉄道を生かしたまちづくりを前向きに検討し、鉄道の在り方を議論されたい。
- 新病院の整備に向けて、他の地域医療支援病院とも機能分担・連携を図るとともに、想定される渋滞対策や建築費の見込み、県立広島病院の跡地活用等について具体的に説明し、県民の不安を払拭されたい。
- 地球温暖化対策推進事業では、伴走支援や優良事例の共有等を通じて中小企業の取組を推進されたい。また、家庭における省エネ対策は、太陽光発電や蓄電池の普及に向け、防災上の利
- 点も含めて複合的に取り組むとともに、フロン類の回収率向上にも取り組まれたい。
- スマート農業の推進に当たり、機器の導入経費等も考慮し、農業者の利益向上に留意するとともに、地理的条件等が近い他県と連携した技術開発や、スマート農業新法に基づく施策の活用により、農業法人等へのスマート農業技術の導入を促進されたい。
- 瀬戸内海の水産資源や漁獲量の回復に向けて、栄養塩類対策や海底耕うん等に係る予算確保を図るとともに、「おいしい!広島」の取組を通じた瀬戸内観光の魅力である水産資源の情報発信にも努められたい。
- 能登半島地震での建築物の倒壊による甚大な被害を踏まえ、耐震化の重要性が高まる中、耐震補強の方法や費用を検討する上で必要な耐震診断の促進を図るとともに、耐震化に係る所有者の負担軽減のため、補助制度の拡充に取り組む必要がある。
- 人口減少に伴い増加する空き家等を区画再編し、市場性のあるストックを生み出す広島

- 型ランドバンク事業について、行政に加え、民間事業者等と連携し、モデル地区における課題をしっかりと検証した上で、事業スキームの確立に向けて取り組まれた。
- 公立中学校の運動部活動の地域連携・地域移行に向けて、地域の実情に応じた取組を推進する必要があるので、市町との連携をこれまで以上に強化するとともに、保護者等の理解促進を図るため、積極的な情報発信に取り組まれたい。
- 不登校の児童生徒への支援に当たり、子供たちが学びの楽しさを実感し個性や能力を最大限発揮できるように、多様な学習ニーズに応じた柔軟で質の高い学びの実現に取り組むとともに、進路実現に向けてフリースクール等と連携を図るなど、教育環境の整備に努められたい。
- ひろしまサンドボックス事業では、新たなビジネス創出支援だけでなく、既存事業者の事業再構築など稼ぐ力を高めることで、県経済の好循環が生まれるよう、一層取組を進められたい。また、中小企業等が抱える課題を共有し、スタートアップ企業が参画しやすい仕組みづくりも



一般会計・特別会計決算の状況 (単位:百万円)

区分	一般会計	特別会計	合計
歳入額	1,163,023	560,320	1,723,343
歳出額	1,147,740	550,685	1,698,425
歳入歳出差引額(A)	15,283	9,635	24,918
翌年度へ繰り越すべき財源(B)	10,375	447	10,822
実質収支額(C)=(A)-(B)	4,908	9,189	14,097
前年度実質収支額(D)	9,409	12,309	21,718
単年度収支額(E)=(C)-(D)	△ 4,501	△ 3,120	△ 7,621

企業会計決算の状況 (単位:百万円)

区分	収入(総収益)	支出(総費用)	純利益
病院事業会計	27,116	28,506	△ 1,391
土地造成事業会計	5,934	4,140	1,794
流域下水道事業会計	9,119	9,062	57

※各区分の計数は四捨五入しているため、金額が一致しない場合があります。

委員名簿

- 16人
- 委員長 福知基弘
 - 副委員長 出原昌直
 - 副委員長 林大蔵
 - 委員 東保幸一
 - 委員 尾熊良一
 - 委員 三好良一
 - 委員 石津正啓
 - 委員 高田稔哲
 - 委員 竹原哲茂
 - 委員 山本忠則
 - 委員 柿岡香奈
 - 委員 灰本長糧
 - 委員 富永やよい
 - 委員 岡野齊也
 - 委員 八幡原圭

議員研修会

議員研修会が、7月19日及び10月18日に実施されました。7月の研修会では時事通信社解説委員の武部隆氏から政務活動費について、10月の研修会では全国都道府県議会議長会事務総長の高原剛氏から人口減少時代の地方議会のあり方についての講演が行われ、講演後には意見交換が行われました。



7月19日



10月18日

可決された意見書

(12月17日議決)

● 税制改正に伴う安定的な地方財源の確保等を求める意見書
● 中小企業等の人手不足対策の充実・強化を求める意見書

表彰

自治功労者表彰

全国都道府県議会議長会から、次の議員が自治功労者として表彰されました。

特別功労者 (議長在職5年以上)

中本隆志(広島市南区/自民議連)

45年表彰

榎山俊宏(広島市安芸区/自民会)

25年表彰

松岡宏道(福山市/自民議連)

中原好治(広島市南区/民主県政会)

15年表彰

福知基弘(広島市西区/民主県政会)

窪田泰久(広島市南区/自民議連)

巻頭写真撮影の高校生に感謝状を贈呈

本紙の巻頭写真を撮影した、県立広島国泰寺高等学校の石井万莉菜さんに、伊藤英治広報委員長が議長からの感謝状を贈呈しました。その後、写真部の活動や写真撮影時のエピソードなどについて懇談しました。



この広報紙についてのご意見・ご要望をお寄せください。

ひろしま県議会だよりは、6月、9月、12月、2月の各定例会後に発行します。

〒730-8509 広島市中区基町10-52 TEL 082-513-4743
広島県議会事務局 政策調査課

FAX 082-222-9600 MAIL gikaichousa@pref.hiroshima.lg.jp



● インターネット中継...本会議や委員会の様子をYouTubeで配信しています(ライブ中継・録画中継)。

● テレビ広報番組の配信...「ひろしま県議会ダイジェスト」を配信しています。

● キッズサイト「みんなの県議会」...県議会の仕組みなどを分かりやすく説明しています。

本会議の傍聴や委員会の視聴、議場の団体見学に関する情報は県議会ホームページをご覧ください。 広島県議会 検索

